



第3次 府中市生涯学習推進計画 2019～2026

概要版



平成31年3月
府中市

1 策定の目的

国や都の生涯学習の動向を踏まえ、次のように重点を置いた本市独自の生涯学習の在り方を明確にし、今後の本市の生涯学習の方向性を定めます。

① 市の上位計画に合わせた「学び返し」の理念の強化とそれに基づく生涯学習の活性化

本市では、市独自の生涯学習の理念である「学び返し」という考え方を早くから確立しています。「学び返し」とは「市民一人ひとりが持っている力を、社会に還元していくこと」を意味します。

「学び返し」は、市民主体の生涯学習活動の確立を目指し、また、生涯学習で培った市民一人ひとりの力の社会への還元を目指す点で、市民協働の方向性に非常に適合性の高いものとなっています。これを踏まえ、本計画では、これまで以上に「学び返し」の市民協働の側面を強化していくこととします。

② 生涯学習全体の統合・調和機能の強化

「学び返し」の理念を浸透させ、実践に移していくためには、他部課の各事業や市内の各施設を始め、学校・市民団体・NPO団体・学習グループ・民間企業など、地域全体での連携や協働が重要となります。また、生涯学習の固有領域が、家庭教育・学校教育・社会教育全体を含む生涯学習全体の統合・調和にあることに立ち戻って、各領域と連携や協働を進める生涯学習施策に一層の注力をしていくこととします。

③ 広域イベントと府中市の地域振興との連携

市民の多くが興味・関心を持つ歴史文化や伝統行事、自然、文化などの「府中市ならではの資源を最大限に活用することにより、多くの市民を生涯学習活動や「学び返し」の活動に巻き込む契機としていくこととします。

生涯学習や「学び返し」の普及に当たっても、市民の大きな関心事となる事業との積極的な連携・協働を進め、多くの市民と協働していくこととします。さらに、大会終了後も、レガシー(遺産)として協働での活動を継承・発展させ、市民の生涯学習に取り組む意識を高めていきます。

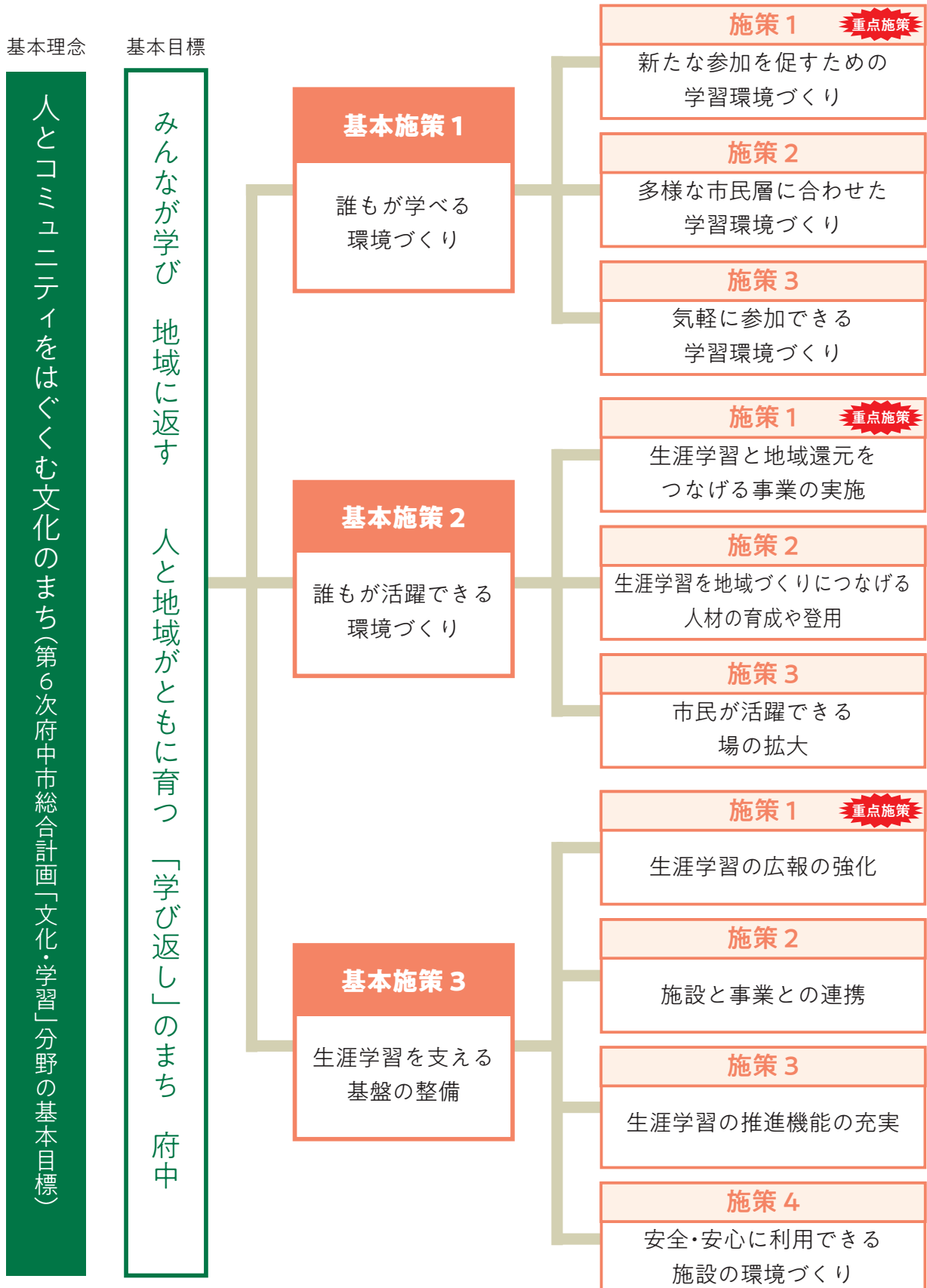
2 計画の期間

本計画の期間は、平成31年度から平成38(2026)年度までの8年間とします。

	28 (2016) 年度	29 (2017) 年度	30 (2018) 年度	31 (2019) 年度	32 (2020) 年度	33 (2021) 年度	34 (2022) 年度	35 (2023) 年度	36 (2024) 年度	37 (2025) 年度	38 (2026) 年度
総合計画	第6次府中市総合計画(平成26-33年度)						第7次府中市総合計画				
生涯学習 推進計画	第2次府中市生涯学習推進計画 (平成21-30年度)			第3次府中市生涯学習推進計画(平成31-38年度)							

3 施策体系

基本理念の下に基本目標を設定しています。基本目標の下には3つの基本施策があります。それぞれの基本施策には具体的な施策があり、その中で重点を置くものを重点施策とします。



4 具体的な施策の展開

基本施策1

誰もが学べる環境づくり

●めざす姿

- 年齢や性別、就労の有無などにかかわらず、全ての市民が、それぞれの興味・関心にかなう生涯学習活動に取り組んでいる
- 仕事や子育てによる時間的制約や、年齢などによって健康面に不安があっても、生涯学習活動に参加しやすい環境が整い、それぞれが行いたい生涯学習に取り組んでいる

●施策目標

「誰もが学べる環境づくり」を進めることで、市の生涯学習講座への参加者数を年間83,000人まで増やしていくことを目標とします。

指標名 (単位)	指標の説明	現状値	平成38(2026) 年度目標値
生涯学習講座への参加者数(人)	生涯学習講座の年間の延べ参加者数です。増加を目指します。	70,187人 (平成29年度)	83,000人

●施策の方向性

施策1 **重点施策** 新たな参加を促すための学習環境づくり

現在、生涯学習活動への参加が少ない層の需要を掘り起こすため、対象者ごとに、興味・関心の方向性や、参加しやすい形を把握し、対象者の特性に合わせた生涯学習事業を企画します。

企画に当たっては、生涯学習センター事業としての展開のほか、他分野との連携を検討するとともに、多様な市民の意見を講座企画にいかす方法を考えていきます。

新規で実施する取組・強化すべき取組

取組1 生涯学習自体の普及促進を目指した新たなテーマの事業への取組

- 市民の多様なニーズや新たな社会変化に対応した生涯学習テーマの設定・企画

取組2 生涯学習活動に未参加の方、新しい住民向けの事業への取組

- 気軽に参加できる講座(無料で体験できる、予約なしで参加できるなど)

取組3 参加率が低いライフステージを取り込む事業への取組

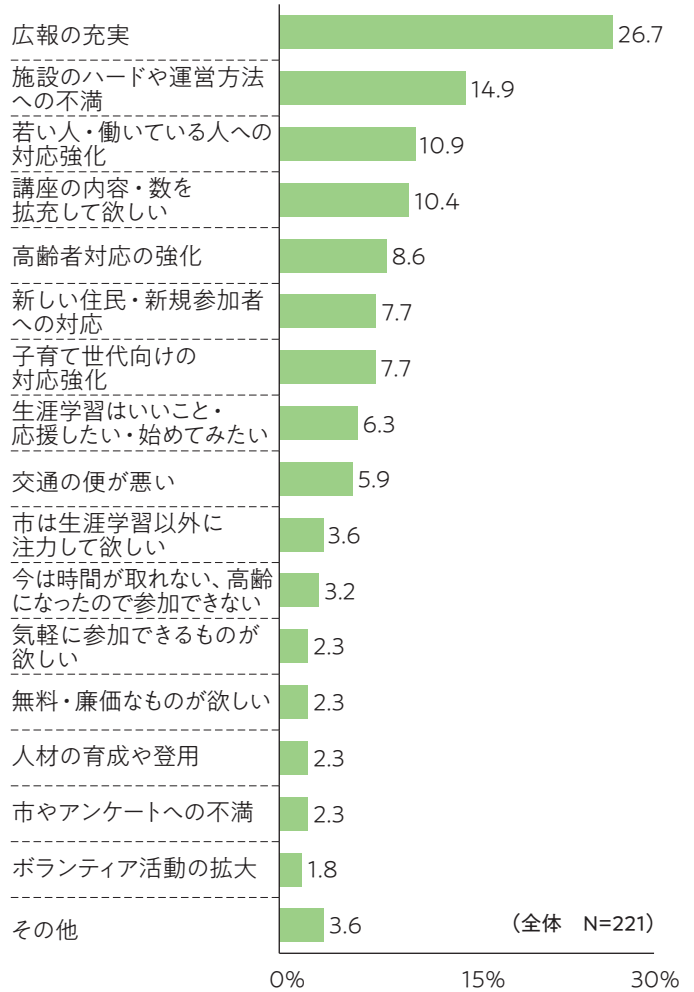
- 若年層・就労者層向け事業の企画(能力拡大につながる夜間帯の事業など)

施策2 多様な市民層に合わせた学習環境づくり

本市の生涯学習事業は、全体としては大変活発な参加がある一方、若年層や就労者層の参加が少ない傾向が見受けられます。

若年層、就労者、高齢者、子育て世帯などそれぞれのライフステージに合わせた参加しやすい環境づくりや、興味を持つ内容・テーマでの生涯学習の講座提供を行います。また、これを効果的に実施するため、市民団体などとの連携や協働を更に進め、市民の力、民間活力の活用を進めます。

市の生涯学習事業についてのご意見、ご提案



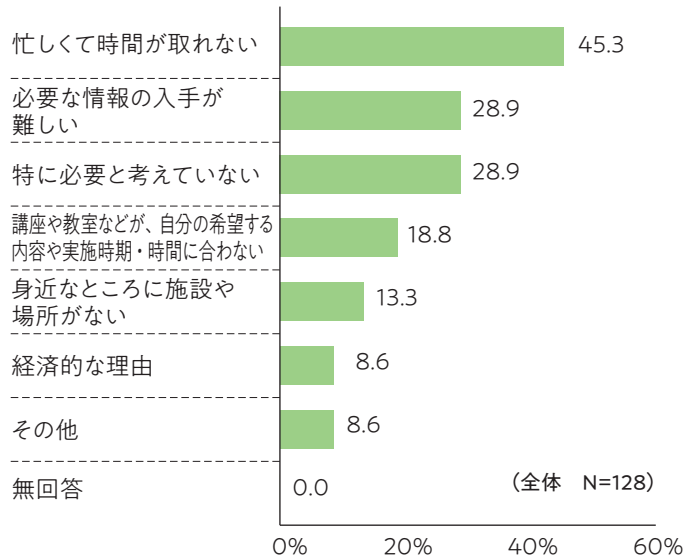
出典 府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査結果

施策3 気軽に参加できる学習環境づくり

市民の中には、全く時間が取れないというより、あらかじめ計画的に時間を空けられないために生涯学習事業の参加に踏み切れない方もかなりいることが想定されます。そのような状況への対応を進めていくことで、生涯学習の参加率を上げていくことができると考えられます。

現在、生涯学習に参加できていない層や新しい住民を巻き込んでいくため、幅広い市民が興味を持つようなテーマの取組及びその広報の充実や、時間がある時に気軽に参加できる講座などを行います。

「生涯学習」をしていない理由



出典 府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査結果

基本施策2

誰もが活躍できる環境づくり

●めざす姿

- 年齢や性別、就労の有無などにかかわらず、全ての市民が、その人ごとに得た知識や技能を、求める人々に還元する生涯学習活動に取り組んでいる
- 生涯学習活動を基盤とした本市全体での市民協働が活性化している。「学び返し」の理念の下、生涯学習活動を経験した人が、そこで身につけた知識や技能を、豊かな地域づくりへ還元している

●施策目標

「学び返し」の理念の普及を図り、地域に還元する活躍の場を市民に提供し「学び返し」の実践を進めることで、「学び返し」の認知度を30%以上まで高めていくことを目標とします。また、「学び返し」活動の1つである生涯学習サポーターへの登録者数を100人以上にすることを目指します。

指標名 (単位)	指標の説明	現状値	平成38(2026) 年度目標値
「学び返し」認知度 (%)	市民による「学び返し」の認知度です。上昇を目指します。	5.7% (平成29年度)	30%以上
生涯学習サポーター 登録者数(人)	市民自らが講師となり市民に教えるサポーター活動をしている人数です。増加を目指します。	75人 (平成29年度)	100人以上

●施策の方向性

施策1 **重点施策** 生涯学習と地域還元をつなげる事業の実施

「学び返し」の理念を市民に普及させるとともに、実際の「学び返し」の活動を市内で大きく広げていくためには、市民の多くが「学び返し」という言葉に触れ、体験ができるような事業を、市全体で実施していくことが有効と考えられます。市内の団体などとの連携を含め、生涯学習と地域還元をつなげる事業を検討します。

新規で実施する取組・強化すべき取組

取組1 学習(学ぶ)と還元(返す)をセットとした事業への取組

- 公共施設での多様なイベント、地域還元におけるボランティア活動とセットとなった生涯学習事業の実施
- 生涯学習活動を行っている人の地域に「返す」活動を推進する制度づくり(生涯学習ファシリテーター・サポーター、生涯学習ボランティア、社会教育関係団体(自主グループ)の活用など)

取組2 市民が学習の成果を地域に還元する契機となる事業への取組

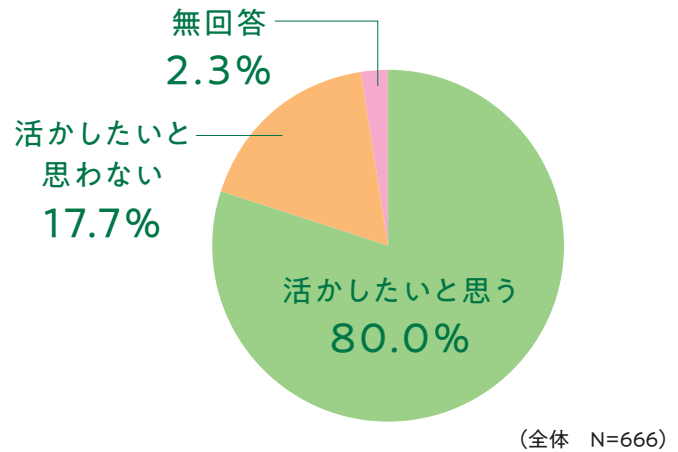
- 生涯学習フェスティバルなどの全市的イベント及び生涯学習系イベントでの市民や市民団体との連携
- ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会などの国際的なイベントや国際理解につながるイベント、府中の歴史文化や伝統芸能を活用したイベントなど、地域全体を巻き込む大規模イベントの関連事業との連携・協働とその後の取組

施策2 生涯学習を地域づくりにつなげる人材の育成や登用

本市では、第2次府中市生涯学習推進計画から、生涯学習サポーター登録制度や生涯学習ファシリテーターの育成を実施しています。また、生涯学習センターでは、生涯学習ボランティアが市と協働して市民の生涯学習活動を支援し、活躍しています。

こうした人材の育成を今後も継続するとともに、より間口を広げ、多くの人々が「学び返し」を始められるよう、学ぶだけでなく、「返す」ことも身につけられる講座などを企画していきます。また、活動の際には、生涯学習センターだけでなく、他の施設や団体等との連携や協働を進めます。

生涯学習の成果を「自分以外のために」活かしたいと思う比率



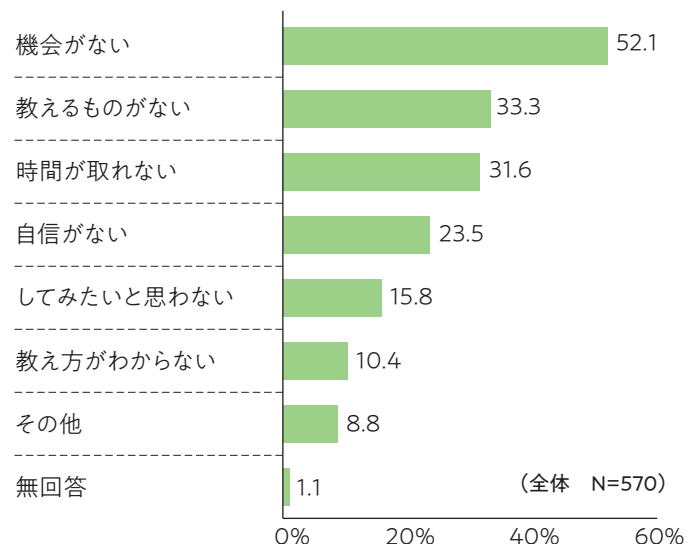
出典 府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査結果

施策3 市民が活躍できる場の拡大

「学び返し」の活動が広まっていくためには、そのための学習の機会だけではなく、学習活動で身につけたものを発揮できる活躍の場も、併せて拡大していくことが求められます。

生涯学習活動を行ってきた市民が、身につけた能力を発揮できる活躍の場の拡大を積極的に図っていくために、生涯学習センターなどの生涯学習系施設だけでなく、他の分野の公的施設や機関に加え、NPO団体や社会教育関係団体、生涯学習ボランティアなど、実際に地域に還元する活動を行っている団体や場との連携が極めて重要となります。加えて、市民協働の活性化を担っている市民活動センタープラッツとの密接な連携も必要です。こうした連携や協働を進めます。

「学び返し」をしたことがない理由



出典 府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査結果

基本施策3

生涯学習を支える基盤の整備

●めざす姿

- 全ての市民が、安心して生涯学習活動の施設を利用している
- 生涯学習の魅力を伝える広報の効果的な実施により、多くの市民が生涯学習活動に関心を持ち、全ての市民が必要な情報を取得できている

●施策目標

市の生涯学習の中核施設である生涯学習センターの利用者満足度を90.0%以上に維持することを目標とします。また、より多くの市民が、必要な時に必要な情報を取得できるよう広報を充実させ、市の生涯学習に関する情報を市からの情報発信により取得できている市民の割合を90.0%以上にすることを目標とします。

指標名 (単位)	指標の説明	現状値	平成38(2026) 年度目標値
生涯学習センターの利用者満足度(%)	生涯学習活動の拠点である府中市生涯学習センターの利用者の満足度です。90.0%以上の維持を目指します。	91.0% (平成29年度)	90.0%以上
市の生涯学習に関する情報を市からの情報発信により取得できている市民の割合(%)	市の生涯学習に関する情報を市からの情報発信により取得している市民の割合です。90.0%以上を目指します。	79.1% (平成29年度)	90.0%以上

●施策の方向性

施策1 **重点施策** 生涯学習の広報の強化

市民アンケートで、本市の生涯学習施策について最も意見が多かったのは「広報」についてです。また、若年層や就労者層、新しい住民は、市からの生涯学習に関する情報が得られないと答えています。これを踏まえ、生涯学習の基盤を支える分野での重点施策として、様々な媒体を活用した広報の強化を目指します。

新規で実施する取組・強化すべき取組

取組 多様な媒体を使った広報事業への取組

- 駅周辺施設、商業施設などでのプロモーションの展開
- ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会など、地域全体を巻き込む大規模イベントの関連事業の場を使った広報活動
- 生涯学習普及のための一元的なデジタル広報体制の整備(SNSの活用、社会教育関係団体等の「学び返し」活動の紹介、学習活動(学ぶ)と地域に還元する活動(返す)をマッチングさせるホームページの作成などを含む)
- 地域のテレビなどとの連携の充実

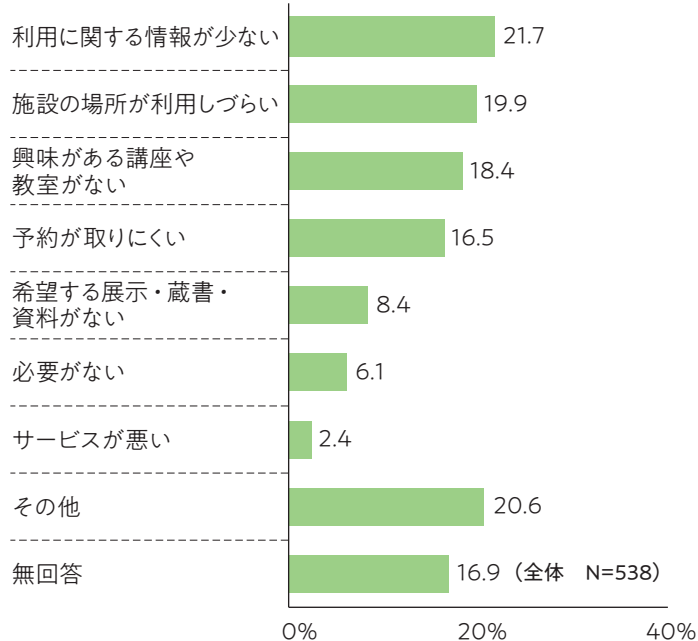
施策2 施設と事業との連携

現在、生涯学習事業の広報は、それぞれの施設や事業で行っているものが主体となっており、多種多様に行われている各活動を、市民が、どのような内容でどのような面白さがあるかも含めて調べ、選択することが難しくなっています。

また、各生涯学習系施設間、あるいは市の生涯学習系施設と市民団体などとの連携を進め、講座内容を共有し、市民に発信するなど、地域ニーズを捉えた事業展開が求められます。

地域全体での学習事業についての連携・協働の拡大などにより、生涯学習事業全体を支えていく施策を展開します。

施設等を利用する上での問題点



出典 府中市の生涯学習に関する市民アンケート調査結果

施策3 生涯学習の推進機能の充実

市内の生涯学習事業全体を通じた施策調整や広報などを積極的に展開していくに当たっては、庁内関連部署の連携を実施するとともに、NPO団体や社会教育関係団体などとの連携を推進していく必要があります。これを実現するため、庁内外の連携を、PDCAサイクルを踏まえ、逐次改善していきます。

こうした調整・連携については、これまで育成してきた生涯学習ファシリテーターの活用も検討していきます。

施策4 安全・安心に利用できる施設的环境づくり

先に述べたように、市民アンケートでは、高齢者や乳幼児連れの方などから利用しやすい環境づくりを求める声がありました。また、生涯学習センターも老朽化対策を考える時期が迫りつつあります。

こうした状況及び第2次府中市公共施設マネジメント推進プランを踏まえ、安全・安心に利用できる施設的环境づくりを、サービス面の改善も含め、積極的に行います。

5 計画の推進体制

●全体の推進体制

本市では、平成15年3月に、市民の生涯学習の振興を図るための審議・建議の機関として府中市生涯学習審議会を条例により設置しています。本計画においても、主管課である文化生涯学習課を中核の推進組織としつつ、その進行状況及び評価について、定期的に府中市生涯学習審議会において審議を実施するとともに、必要に応じて、その建議を受けていくものとします。

●市民との協働による推進

本市は平成26年10月に、「市民協働都市宣言」を行いました。第6次府中市総合計画では「協働」をテーマに策定し、「市民協働」を積極的に推進しています。

生涯学習の推進に当たっても、市民、地域、団体、学校、企業など、生涯学習に関わる全ての人々と市が連携を深めながら、積極的に取り組むことが大変重要になります。各主体がそれぞれの垣根を超えて主体的に連携・協力し、生涯学習の推進に取り組めるような環境づくりを進めます。

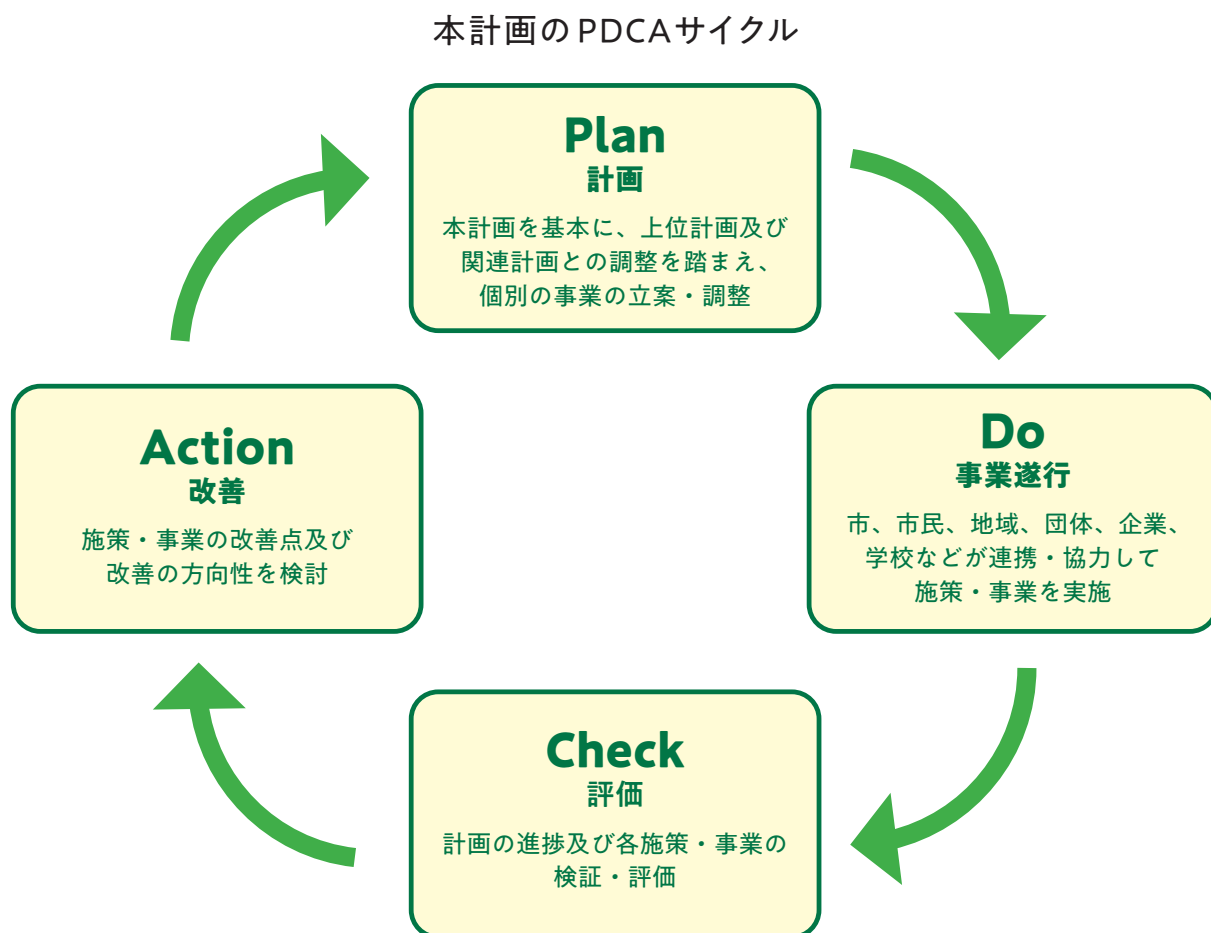
●市内部のマネジメントによる推進

本計画には、生涯学習部門だけでなく、様々な関係部門が担当する施設や事業も含まれています。計画を確実に推進していくためには、庁内の枠組みを超えた相互連携を図りながら取り組んでいくことが重要になります。

市としての部体系的な学習機会の提供や事業の実施など、庁内担当課との連携・協力を進め、また各課が所管する施設間の連携を高めることで、効果的に事業を推進していきます。

6 計画の進行管理

本計画を具体的な事業計画に反映させるPlan(計画)、それを専門的な知見を持って実施していくDo(業務遂行)、遂行結果を確認するCheck(評価)、評価を基に事業や計画を見直すAction(改善)の「PDCAサイクル」を確実に推進していきます。また、毎年各基本施策における事業の実施状況を調査し、進捗管理を行っていきます。

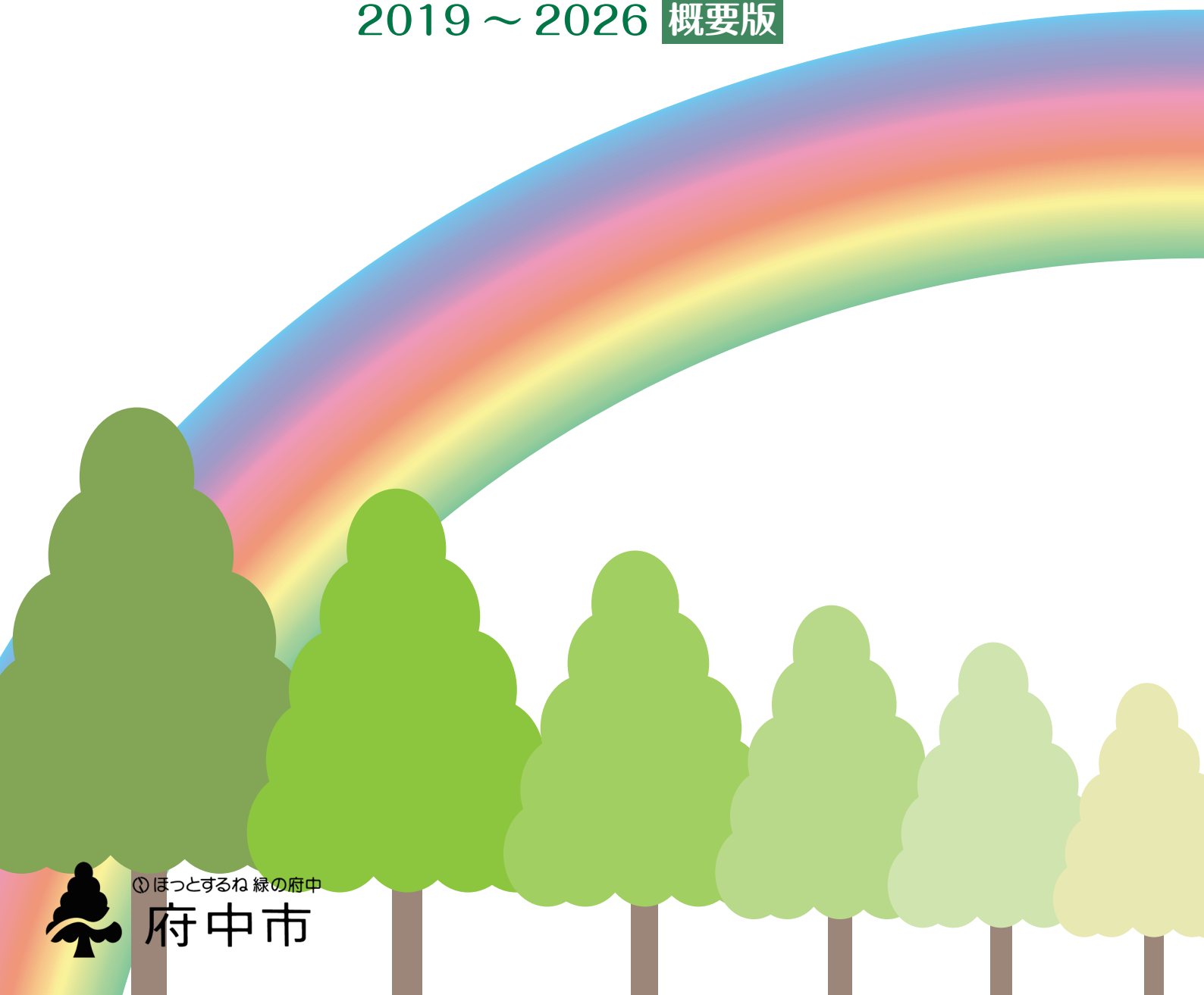


第3次 府中市生涯学習推進計画 2019～2026 概要版

発行日	平成31年3月
編集・発行者	府中市文化スポーツ部文化生涯学習課
所在地	〒183-0056 東京都府中市寿町1丁目5番地
電話	042-364-4111(代表)／042-335-4394(直通)
FAX	042-365-3593
ホームページ	http://www.city.fuchu.tokyo.jp



第3次
府中市生涯学習推進計画
2019～2026 概要版



①ほっとするね 緑の府中

府中市